


どの子どもも輝き  
笑顔いっぱい  
とねがわ幼稚園

# とね幼だより

よい頭・よい躰・強い体




『令和』の幕開けとともに 



ご入園・ご進級おめでとうございます


園長 笛木 哲


自然が、一日一日とカラフルに開く春がまた巡ってきました。園庭の3本の桜が満開です。園児が植えたチューリップも、花壇のヒヤシンスも、雑草についた小さな花も、自分の色を輝かせて、優しく春の風に揺れています。春の喜びを伝えるために…。

本日、35名の新入園児を迎え、全園児193名、教職員26名で、とねがわ幼稚園が、子ども達、保護者の皆様の大きな期待と夢を乗せてスタートしました。教職員は、一日千秋の思いで、子ども達と出会う今日を待っていました。 

まもなく『平成』の時代が終わり、新たな『令和』の幕が上がります。この春、幼稚園に入園、在園している子ども達は、『令和』の時代を担い、創ります。その時代が、豊かで明るい時代になるような人材育成は、幼稚園教育に課せられた大きな宿題です。とねがわ幼稚園は、子ども達の多様な個性を大切にしながら、集団生活の場で、生きる力の礎を育ててまいります。今年も、新しいことに挑戦します。どうぞご期待ください。

 初めての集団生活、久しぶりの幼稚園 不安があっても当たり前 

まだ寒さ厳しい2月のことでした。「体操着を忘れてしまいました。」と涙目の年少児。いつもはしっかりしている子です。担任が「職員室へ体操着を借りに行こう。」と声をかけると泣き崩れました。母親の勤めが変わり、一緒に過ごせる時間が少なくなって不安がたまっていたようです。担任は、『4歳の小さな身体で、母親の愛情をたくさんもらいたいのを我慢して一生懸命に園に来ていることは、本当に偉くて、凄いことなんだな、と改めて感じました。』と心の思いを語ってくれました。自立に向けて、親元を離れて幼稚園という集団生活の場に向かう子は、心に大きな不安をしまいこみ、勇気を振り絞って幼稚園の門をくぐります。4月は、そんな子がいっぱいいます。泣くのは子どもにとっても、親にとっても大きな試練です。でも、きっと乗り越えます。 

3月、その子が園庭で転ぶと、□□くんが「○○ちゃん、だいじょうぶ？ 僕が守ってあげるからね。」と素敵な言葉をかけていました。自分の不安は、自分で乗り越えるしかありません。そして、助けてくれる素敵な仲間が待っています。 

職員の異動について

園児の生活を様々な側面で援助して下さった吉原友紀先生がご退職し、さくらんぼ(預かり保育)担当として、岡野繭美先生が着任しました。吉原先生へのご厚情に感謝申し上げますと共に、引き続きご支援・ご厚情賜りますようよろしくお願いいたします。 